

BCAO関西支部 第68回意見交換会 議事録

1. 概要

- (1)日 時： 2012年7月18日(水) 19:00～20:30
- (2)場 所： 大阪市中央公会堂 展示室(地下1階)
- (3)座 長： 田中
- (4)書 記： 野原(代役 川口)
- (5)話題提供： 川口
- (6)出席者：22名(順不同・敬称略)： 大館、日下、萩原、福島、柳父、伊藤、田中、野原、山口、速水、鷺山、梅田、小友、谷、平井、松下、森口、久保田、寅屋敷、山口、小西、川口

2. 議事録

(1)「BCMに関するインシデント」について

[A氏] 関西支部では、自然災害に偏っており、もっと幅広くインシデントを考えるべきと思う。

[話題提供者] 気象協会の警告「総雨量 2000mm はもはや想定外ではない」のきっかけとなった紀伊半島大水害(2011年9月)の現地調査結果を報告し、BCMにおける水害インシデントへの備えの重要性を強調。

[B氏] 水害の脅威は、河川ばかりでなく、それ以外の場所でもある。

[C氏] 東京では、時間雨量50mmを越えると排水処理できない、と言われている。また、ご指導させていただいている企業様の水害対策では、実施可能な対策は実施、特に高額な費用を要する対策は受容しているのが実態。

[D氏] 配水管の仕様が50mmであっても、メンテナンスの状況によってはそれを下回る場合がある。

(2)「リスクとインパクト」について

[A氏] 日本リスクマネジメント協会の考え方は、「リスクとは目的の達成を阻害する可能性」、「ネガティブ及びポジティブリスクの両面がある」との考えが一般化している」等。

[話題提供者] 認知科学の観点では、「感性によって認識される主観的リスクと科学的分析によって認識される客観的リスクに2分類」される。

[C氏] 例示をして下さい。

[話題提供者] BCMスタッフが、社屋のIS値を算出し、耐震補強工事が必要と認識したのは客観的リスク。それに対して、経営者が、「日頃、同社屋を使用していて危険を全く感じない」、とするのは主観的リスク等々。

[C氏] それは違うと思います。

[話題提供者] ものの見方、考え方には、様々あって良いと思います。

(3)「第三者認証」について

[話題提供者] あるべき姿と望ましくない姿とがある。実態を知った上で、ISO22301の認証への対処の参考にしてはどうでしょうか。

[D氏] あるべき姿を目指して認証を受るとの選択をするのもよし、するべき姿とかけ離れた実態を嫌って、認証を受けないのもよし、個別に判断をされれば良いと思う。

以上